

# 平成 26 年度 決算の主な事業内容について

## 重点項目

---

1. 子ども・子育て、教育環境の充実
2. 安全・安心な未来の創造
3. 快適で、便利な都市基盤の整備
4. 市民力による地域づくりの推進

### 1. 子ども・子育て、教育環境の充実

- 保育所保育料の更なる軽減 (1億5,287万円)  
市独自で一部負担してきた保育所保育料の軽減率をこれまでの20%から30%に拡大し、さらなる保護者負担の軽減を行った。
- すべてのアフタースクールを1時間延長 (4,059万円)  
全小学校(8校)におけるアフタースクールの利用時間を1時間延長。  
これにより市内全てのアフタースクールの利用時間が19時までとなり、子育てと就労の両立をサポート。
- 保育所施設の整備助成 (2,936万円)  
平成26年度は小野保育所と亀鶴保育所に助成。
- 中学3年生までの医療費完全無料化 (2億4,451万円)  
中学校3年生までの医療費完全無料化(所得制限なし)を継続し、子育て家庭を支援。
- 小野東小学校運動場の整備 (1億1,561万円)  
平成24年度から取り組んだ小野東小学校整備事業の最終段階として運動場の整備を実施。
- 病児・病後児保育事業 (1,070万円)
- 給食センター整備事業 (6,303万円)
- 水痘予防接種費用の助成 (1,089万円)
- 妊婦健診、特定不妊治療・不育症治療費の助成 (3,079万円) など

### 2. 安全・安心な未来の創造

- 北播磨総合医療センターの健全経営 (5億5,055万円)  
昨年10月にオープンした北播磨総合医療センターの健全経営に係る負担金。  
運営関連経費の負担比率 小野市：三木市＝5：5  
建設関連経費の負担比率 小野市：三木市＝4：6

- **防災センターの運営開始と防災行政無線の整備** (6,502万円)  
災害対応拠点となる防災センターが本格稼働。  
防災行政無線も導入し危機管理体制の強化を推進。
- **拠点避難所への防災倉庫整備** (1,754万円)  
防災資機材等の分散備蓄計画にもとづき、市内の拠点避難所に防災倉庫及び防災資機材を整備。  
H26年度は市場小学校、河合中学校、小野小学校、コミセン下東条に整備。
- **LED防犯灯新設整備** (1,741万円)  
H26年度から5か年の計画で防犯灯倍増5000作戦を開始。  
LED防犯灯を増やすことで、暗がり解消しより安全・安心なまちづくりを推進。  
平成26年度は769灯を設置。
- **通学路安全対策強化** (1,958万円)  
市内小学校の通学路203号線外8路線の路肩カラー化を実施。
- **コミュニティバスの運行** (5,465万円)
- **安全・安心パトロールの推進** (5,206万円)
- **浄谷黒川丘陵地整備事業** (4,197万円)
- **安全安心センター整備事業** (134万円)
- **北部救急拠点の整備** (124万円)

### 3. 快適で、便利な都市基盤の整備

- **新都市中央線の整備** (4億4,892万円)  
橋梁工事4か所、排水構造物(3,000m)等の整備を実施。
- **ひまわりの丘公園整備** (5,300万円)  
夏期の避暑対策として、親水施設を新設。  
新たな魅力の追加と、幼少の子どもが安心して遊べる環境を整備。
- **一般道路整備事業** (1億6,868万円)  
平成22年からの5か年計画の最終年。  
平成26年度は舗装新設12路線(市道217号線外)、舗装改良15路線(203号線外)を実施。
- **農村総合整備「ひまわりの里小野2期」** (7,601万円)  
平成26年度は三井堰水路や浄谷町の水路などの改修を実施。
- **道路点検・修繕** (5,562万円)
- **神戸電鉄粟生線維持確保支援等** (2,423万円)
- **主要道路環境整備** (952万円)

## 4. 市民力による地域づくりの推進

- **市制 60 周年記念事業** (981 万円)  
12 月 1 日にうるおい交流館で記念式典を開催。約 450 人が参加。  
式典以外にも関連イベントを開催。
- **うるおい交流館、市民ホール運営委託** (1 億 6,972 万円)  
うるおい交流館に市民交流ホールがオープン (6 月) し、うるおい交流館の機能がさらに充実。  
管理運営は NPO 法人に委託。
- **チャリティー・ハーフマラソン開催** (600 万円)  
市制 60 周年を記念し、小野市初となるハーフマラソン大会を開催。5,700 人が参加。
- **高齢者等地域活動拠点づくり事業** (2,725 万円)  
自治会館等を活用し、地域が主体的に取り組む高齢者等の居場所づくりを支援。  
地域活動拠点づくりへの補助 (備品購入等) 20 万円/1 拠点  
地域活動拠点施設整備への補助 (バリアフリー化等) 180 万円/1 拠点  
補助実績  
H26 年度 : 拠点づくりへの補助 1 拠点、拠点整備への補助 14 拠点
- **地域コミュニティ活動の推進** (2,100 万円)  
市内 6 地区の各地域づくり協議会の活動を補助。(小野地区 600 万円、その他の地 300 万円)
- **自治会役員への女性参画推進** (389 万円)  
自治会役員に 2 名の女性を登用 10 万円  
女性が三役の場合は加算 10 万円  
平成 26 年度は 23 自治会に補助。10 万円補助 8 自治会、20 万円補助 15 自治会
- **小野まつりへの助成** (4,650 万円)  
市制 60 周年を記念して花火を増発。(5,500 発)